

元気づくり・地域づくりコーディネーター (第2層生活支援コーディネーター) の活動方針 (取組内容)



枚方市 長寿社会部
地域包括ケア推進課

平成29年7月

樟葉校区（第1圏域）

地域包括支援センター社協こもれび

- 新たな居場所や活動拠点づくりを検討する。
- 常設の居場所づくり・居場所における世代間の交流に取り組む。
- 元気な高齢者が参加、活動できる取り組みの検討を行う。

樟葉南校区（第1圏域）

樟葉南校区コミュニティ協議会

- 実態把握とニーズ調査を目的に、校区内全自治会（13）が高齢者の調査とリストを作成する。
- 校区内の拠点（居場所）づくりに取り組む。
- 校区福祉委員と全面的に協力して健康体操を実施する。

樟葉北校区（第1圏域）

地域包括支援センター社協こもれび

- 新たな居場所や活動拠点づくりを検討する。
- 常設の居場所づくり・居場所における世代間の交流に取り組む。
- 元気な高齢者が参加、活動できる取り組みの検討を行う。

樟葉西校区（第2圏域）

樟葉西校区コミュニティ協議会

（目的）

地域で支え合い、生き生きと暮らせるまちづくりをめざし、地域関係者の連携を図り、「樟葉西校区」の高齢者が楽しく参加、活動できる居場所をたくさんつくり、高齢者とその家族の課題の解決に向けてネットワークを作っていく。

（内容）

- ①地域の実情や活動を共有し、構成員間の情報交換、交流、連絡、地域課題の共有に関する事。
- ②事業の企画及び実施に関する事。
- ③活動場所や人材を増やしていく事。
- ④アイデアを出し合い、できるところから進めていく事。
- ⑤上記①～④のほか、地域の活性化を目的とする事業を実施していく事。

殿二校区（第3圏域）

殿二校区福祉委員会

殿二校区第3次計画の行動方針と同様に、重点目標の視点を取り入れ、既存事業の見直しや拡充によって、質的な拡大を目指していく。

第3次 殿二校区ふくしのまちづくり計画

1. 校区目標 「人と人とのつながり、安全・安心のまちづくり」

第1次計画次時に設定した校区目標を、永続的な指針として継承していく。

2. 重点目標 「いのちを健やかに、育む・保つ」

殿二校区では、高齢化が徐々に進行する一方で、年少人口率は横ばいを保っている。貴重な地域の「子宝」である子どもたちを健やかに育むとともに、ただ長生きするのではなく、健やかな生活を長続きさせ、健康寿命を延ばしていくことを第3次計画の重点目標とする。

平野校区（第3圏域）

介護予防・日常生活支援協議体

- 地域の行事（グランドゴルフ大会・夏祭り・校区体育祭・平野フェスティバル）に関する事項を協議体で検討し活動を充実させる。
- 地域の高齢者の健康づくりや行事の参加を呼びかけを行う中で、課題抽出を行っていく。

小倉校区（第4圏域）

小倉校区コミュニティ協議会

- 校区コミュニティ協議会主催で介護事業所等と連携を図り、講座を行う。
- ひらかた元気くらわんか体操の普及啓発を行う。
- 自治会単位で地域でできることを検討する。

殿一校区（第4圏域）

殿山第一校区コミュニティ協議会

- 校区内で坂が多く、外出を阻んでいる地域があることから移動支援を検討する。
- 現在行っている地域行事を活性化していく。
- 老人クラブの活性化と加入促進を行う。
- 商店会・介護事業所等との連携を行う。

西牧野校区（第4圏域）

地域包括支援センター安心苑

- 西牧野校区内における課題の抽出と課題解決に向けた意見交換を行う。
- 協議体での意見を踏まえ、地域課題の整理と解決プランの策定・提案活動を行うとともに、関係部門への調整や報告を行う。

山田東校区（第5圏域）

山田東校区福祉委員会

- 現在の地域活動の情報共有や意見交換を行う。
- 既存の行事、活動を継続しながら、山田東校区らしい取り組みを検討していく。

中宮北校区（第5圏域）

中宮北校区福祉委員会

- ふれあいサロンなど各種行事の企画
- 講師などの手配
- 関係機関との調整
- 校区での課題抽出

交北校区（第5圏域）

交北校区コミュニティ協議会

①体力づくり・元気づくり

- スポーツ推進員、各自治会並びに福祉委員会は各種行事の開催時にひらかた元氣くらわんか体操を取り入れる。

②参加・活動つどいの場

- 福祉委員会はいきいきサロン等の高齢者対象事業の拡大継続に努める。
- 各町・自治会会員は相互に各種町内行事への参加勧誘の強化に努める。

③くらしのサポート

- 近隣住民は相互に日常の声かけ、民生委員・児童委員は高齢者訪問見守りを継続する。
- 各町・自治会は年2回以上の高齢者訪問見守りを行う。
- 協議体は「配慮を必要とする人」と日常的かつ積極的に関わる。

中宮校区（第6圏域）

中宮校区コミュニティ協議会

【目的】

- 中宮校区の住民に対し、「気軽に」「身近に」「楽しく」をキーワードに介護や介護予防についての啓発を行う。
- 住み慣れた地域で、いくつになっても暮らせるように、「元気づくり」「地域づくり」の両面にアプローチする。

【内容】

運動教室、体力測定会のような取り組みを行い、相談会を行っていくことの啓発を行う。

桜丘校区（第6圏域）

地域包括支援センター松徳会

- 地域の中のサロンや体操など、既に行っている活動の組織化を検討する。
- 今ある活動の中から拡充できるものを検討し、閉じこもり等の高齢者に地域に出てきてもらえるよう働きかける。
- 活動している団体同士がつながり、協力・連携できるようにネットワーク構築に取り組む。

伊加賀校区（第7圏域）

伊加賀校区福祉委員会

- 平成28年度伊加賀校区活動計画内容を継続し、卓球イベントの追加など活動を活性化させる。
- ふれあい交流会や食事会等開催している内容に、介護予防の取り組みとして出前講座や元気はつらつ事業等を追加して、介護予防の意識向上を図っていく。

蹉跎東校区（第7圏域）

蹉跎東校区コミュニティ協議会

- 高齢者が地域で「自分らしく」元気に暮らし続けるための仕組みづくりに取り組む。
- 地域の課題を抽出することから始めて、現在行っている活動に新たに組み入れていけるようにしていく。今後、地域からの課題に対しどのような取り組みが可能か検討する。

枚二校区（第8圏域）

介護予防・日常生活支援協議体

① 体力づくり・元気づくり

- スポーツ推進員は「ひらかた元気くらわんか体操」（以下、体操）の普及に努める。
- 各町自治会および福祉委員会は各種行事の開催に当たり体操を取り入れる。
- 体育振興会は区民体育祭をはじめスポーツ行事（球技大会等）に体操を取り入れる。

② 参加・活躍つどいの場

- 福祉委員会は「いきいきサロン」等の高齢者対象事業の拡大継続に努める。
- 各町自治会会員は相互に各種町内行事への参加勧誘の強化に努める。

③ くらしのサポート

- 近隣住民は相互に日常の声掛けを励行する。
- 福祉委員会は年2回の高齢者訪問見守りを継続する。
- 各町自治会（主に役員）は年2回の高齢者訪問見守りを行う。
- 「オレンジのわ」は協議体の趣旨に基づき積極的に事業を展開する。
- 校区住民は「配慮を必要とする人」と日常的かつ積極的に関わることを旨とする。

枚方校区（第8圏域）

枚方校区コミュニティ協議会

- 枚方校区の特色あるイベントの企画・運営を行う。
- 各自治会の独自性の運動を統括推進し、自治会間の絆づくりを推進する。
- 屋外活動を推進し、「引きこもり生活」から生涯「健康寿命」で生活できる環境づくりを推進する。

香陽校区（第9圏域）

香陽校区福祉委員会

【当面の取り組み】

- 福祉委員会や老人会、自治会等が取り組んでいる内容を把握し、介護サービス利用者数の把握など、実態把握を行う。
- 香陽元気クラブ（仮称）の立ち上げに取り組む。

【取り組みの広がり】

- スポーツ推進委員・体育委員も各行事でひらかた元気くらわんか体操を取り入れる。
- 色々な活動の場が地域にたくさん生まれる事を目標に、既にある活動の広がりを検討する。
- 地域のミニデイ等の事業の創設につながる取り組みを検討する。
- 地域の行事や取り組みに「活動移動支援事業」の活用等を検討しながら、参加者数の増加を目指す。

開成校区（第9圏域）

開成校区コミュニティ協議会

① 体力づくり・元気づくり

- スポーツ推進員は「ひらかた元気くらわんか体操」（以下、体操）の普及に努める。
- 各町自治会および福祉委員会は各種行事の開催に当たり体操を取り入れる。

② 参加・活躍つどいの場

- 校区福祉委員は「いきいきサロン」等の高齢者対象事業の拡大継続に努める。
- 各町自治会・管理組合会員は相互に各種町内行事への参加勧誘の強化に努める。

③ くらしのサポート

- 近隣住民は相互に日常の声掛けを励行する。
- 校区福祉委員は年2回の高齢者訪問見守りを継続する。
- 各町自治会（主に役員）は年2回の高齢者訪問見守りを行う。
- 校区住民は「配慮を必要とする人」と日常的かつ積極的に関わることを旨とする。

香里校区（第9圏域）

香里校区福祉委員会

- 認知症サポーター養成研修の実施
- 元気づくりのため老人会での活動時にひらかた元気くらわんか体操の導入
- いきいきサロンでのひらかた元気くらわんか体操の導入
- 青色防犯パトロールを活用した徘徊者の見守り活動の実施

春日校区（第10圏域）

春日校区福祉委員会

- 自治会、同好会を中心に実施している活動を継続推進し、活動の支援を行う。
- 地域で既に実施している活動を支援し、活性化させる。
- 新たな取り組みを企画、活動の支援を行う。
- 会議を定期的に行い、情報交換を行う。

川越校区（第10圏域）

川越校区コミュニティ協議会

【活動目標】

1. お手軽に利用できる介護予防拠点づくり
2. 高齢弱者が参加できる居場所づくり充実活動
3. 近隣孫の手運動の推進

情報収集と現状把握	定期的な会議による情報収集、KJ法・連関図法による現状把握と地域問題点の要約
地域みんなが楽しく暮らす	小地域ネットワーク活動、健康維持・元気増進の取り組み、認知症地域ケア会議の開催誰もが必要とされ、役割があり、活動の場をつくる活動。夏期ラジオ体操
近隣孫の手運動 (町内別)	各自治会別高齢弱者の把握、ひとり暮らし・軽度認知症の高齢者が安心して暮らせる近隣の理解と手助け、自分ではできないちょっとした手助けや見守りがある近隣づくり
元気ハツラツ高齢者が活躍する実践活動	児童見守り活動、子ども食堂のお手伝い、いきいきサロン担当分担、近隣ごきげんさん見守り活動、地域美化活動
地域コミュニケーションづくり	「さわやかあいさつ運動」の継続、いきいきサロンの充実、校区グランドゴルフ大会（月別）、歩こう会、校区ボーリング大会、ふれあいこどもまつり、区民体育祭（統合化）、川越夏祭り（統合化）、川越フェスティバル、長寿のつどい、地域防災訓練、交通対策活動、防犯防災歳末特別活動

東香里校区（第10圏域）

東香里校区福祉委員会

①体力づくり・元気づくり

ひらかた元気くらわんか体操の普及に努める。

②活動・仲間づくり

福祉委員会、自治会、老人クラブ主催の地域行事への参加の声かけを行う。

③くらしのサポート

ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるように、近所の理解と、ちょっとした手助けや見守りを心がける。

西長尾校区（第11圏域）

西長尾元気づくり地域づくり協議体

- 校区福祉委員会活動として行っているサロンや地域活動等を充実させる。
- ひらかた元気くらわんか体操の普及啓発を行う。
- 地域での集いの場創出に向けて取り組む。

藤阪校区（第12圏域）

藤阪校区福祉委員会

- 藤阪校区の集いの場や活動内容等の情報収集を行い、協議体で共有する。
- 情報共有後、今年度のテーマや取り組み内容を決定していく。

菅原東校区（第12圏域）

菅原東校区福祉委員会

- 閉じこもりや孤立している高齢者への働きかけによる
生きがい・役割づくり。
- ぶらっとホームを活用した介護予防・集い・楽しみの拠
点づくり。
- 校区だより（全戸配付）による周知・啓発活動

田口山校区（第12圏域）

田口山校区福祉委員会

- 協議体での意見交換に基づき、情報収集シートを作成し、地域の情報収集を行う。
- 地域の情報収集後、情報共有を行い、今後の活動の検討を行う。

津田南校区（第13圏域）

介護予防・日常生活支援協議体

①体力づくり・元気づくり

- ひらかた元気くらわんか体操の普及に努める。各地域行事に取り入れる。
- 積極的に推進した団体・グループには奨励賞として表彰する。

②集いと交流

- 校区福祉委員会は高齢者対象行事の拡大継続に努める。
- 各自治会の老人会との活動と連携し、新しい老人会を結成し、高年齢者の生きがい生まれる団体を目指す。

③安心と安全

孤独死を出さないために、

- 地域自主防災訓練等に参加し、近隣住民との日常の声かけ、挨拶運動の推進を行う。
- 地域自主防災役員は、地区民生委員と年2回以上高齢者訪問を計画し見守りを行う。

津田校区（第13圏域）

津田校区福祉委員会

【当面の取り組み】

- 地域の実情や活動を集約し共有する。
- 地域の高齢者の調査と実態把握を行う。
- 参加できる地域イベントや周知方法について検討していく。
- 老人会問題、一人暮らし老人会の再開に向けての方法を検討していく。

【取り組みの広がり】

- 仲間がいて、ふらっと気軽に立ち寄れる居場所づくりを検討する。
- 参加することで元気になれる体力づくり（ひらかた元気くらわんか体操を取り入れる）
- 元気な高齢者が実践活動ができ、活躍できる取り組みを検討する。

氷室校区（第13圏域）

氷室校区福祉委員会

【当面の取り組み】

- 3区4自治会がしている活動を集約し共有する。
- ほっと館を充実させるための検討を行っていく。
- ほっと館まで来れない人の居場所づくりを検討する。
- 認知症の人の対応、早期発見するための方法について検討する。
- 定年後の若い高齢者の役割を考える。アンケート調査等検討する。
- 一人暮らし老人会、シニア会の参加メンバーを増やすためのP R活動等取り組みを検討する。

【取り組みの広がり】

- 出前ほっと館の検討。小さな居場所づくりの広がり。
- 参加することで元気になれる体力づくり（ひらかた元気くらわんか体操を取り入れる）
- 元気な高齢者が実践活動ができ、活躍できる取り組みを検討する。
- ボランティアの充実に取り組む。